

Title	言語文化学 Vol.6 学会の活動/会則
Author(s)	
Citation	大阪大学言語文化学. 6 p.198-p.201
Issue Date	1997-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/78104
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学会の活動

平成 8 年 5 月 23 日 言語文化学会第 10 回大会

<研究発表会>

川野敦子：女性的想像界の創造にむけて

— H. D., Luce Irigaray の詩的制作 —

吉川史子：Impersonal “Remembren” in the Works of Chaucer

ポダルコ・ピョートル：亡命ロシア人・F. D. モロゾフの回想録の分析
をめぐって

<総会>

活動報告

委員改選

新委員：

北村卓（委員長）、小門典夫、Alexandre Dybovsky、Paul Harvey、

福田覚、上村和美、大谷朗、城野充、中村洋、松井理直、有宗昌

子、今泉志奈子、西澤裕一、福井智子、松原陽子

会計報告（次項の通り）

平成 8 年 10 月 24 日 言語文化学会第 11 回大会

<研究発表会>

増田幸子：映画の中の「日本」

— 1990 年代のアメリカ映画と香港映画を中心に —

ヴァルーエフ・ウラジーミル：現代の「ロシア人の日本観」と「日本人のロシア観」

金 慶燕：日韓両言語にみられる言語表現

ワシスト・シュラワン：The Semantics of Negative Polarity in Hindi
and Japanese

内田充美：「懸垂」分詞節の後置用法について

仲田陽子：欧米における言語と性差研究の歴史的変遷

平成 9 年 3 月 31 日 言語文化学会第 6 号刊行

< 査読者 >

井元秀剛、植田晃次、浦啓之、大森文子、沖田知子、金子元臣、
北村卓、木村健治、木村茂雄、郡司隆男、小門典夫、小谷野敦、
坂内千里、里内克巳、竹内章、田中美英子、津久井定雄、津田葵、
中直一、成田一、西口光一、日野信行、Paul Harvey、溝邊敬一、
三藤博、森祐司、由本陽子、ヨコタ村上孝之、渡邊伸治

< 平成 7 年度会計報告 >

収 入		支 出	
学会費 (163 人)	489,000	『言語文化学』第 4 号印刷代	495,000
『言語文化学』売上	5,500	『言語文化学』発送費	50,232
利息	1,319	交通費	5,190
前年度繰越金	785,672	通信費	16,110
		消耗品費	10,958
		学会費返金、送料	3,500
		懇親会費	22,269
		次年度繰越金	678,232
計	1,281,491	計	1,281,491

平成 7 年度会計委員

城野 充

水田洋子

会計監査 (平成 8 年 5 月 22 日) ヨコタ村上孝之

横川博一

大阪大学言語文化学会会則

第1条 本会は大阪大学言語文化学会と称する。

第2条 本会の会員は次の2種とする。

1. 通常会員 大阪大学言語文化研究科及び言語文化部の教官、大学院院生、大学院修了者で所定の会費を納めたもの。
2. 特別会員 元教官及び本会にとくに貢献したもの。

第3条 本会は会員の学術研究を促進するとともに、研究成果の普及をはかり、広く学術全般の進展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達するために研究会を開催し、機関誌を発行する。

第5条 本会の会員は機関誌の配布を受ける。

第6条 本会は第3条の目的を達するために年1回、言語文化学会総会を開催する。

第7条 本会に次の役員をおく。

1. 会長及び委員、監事をおく。
2. 会長を言語文化研究科長、副会長を言語文化部長とする。
3. 委員は原則として教官より5名、大学院院生より5名を選出する。
なお別に事務担当をおくことができる。
4. 監事は2名とし、会計の監査にあたる。監事は会長が委属する。

第8条 本会に委員会をおく。

1. 委員会は前条3の委員をもって構成する。
2. 委員会に委員の互選による委員長、企画・編集委員（若干名）、会計委員（若干名）をおく。
3. 委員会は本会の運営にあたる。

第9条 役員の任期は次の通りとする。

1. 会長及び副会長の任期は言語文化研究科長及び言語文化部長の任期に従う。
2. 委員の任期は1年とする。
3. 監事の任期は1年とする。

第10条 本会の経費は会員の会費及びその他の収入による。

1. 会費は付則に定めるところによる。
2. 本会の会計年度は毎年4月より翌年3月までとする。

第11条 本会の事務局は大阪大学言語文化研究科内におく。

- 付則
1. 通常会員は会費として年間3000円を納める。
 2. この会則の改正は、総会において出席者の3分の2以上の賛同を必要とする。
 3. 本会則は平成3年5月8日より発効する。